

かわせみ



市立ひらかた病院ニュース

2015
春号
VOL. 36

〒573-1013 枚方市禁野本町 2-14-1

Tel (072) 847-2821

Fax (072) 847-2825

ホームページ <http://hirakatacity-hp.osaka.jp/>

身体に優しく、負担の少ない治療をめざし

今年から新装置による放射線治療を開始

がんサポート体制も充実へ

日頃より大変お世話になっております。

昨年9月22日念願の新病院を開院することができました。お陰様で大きなトラブルもなく、順調に滑り出すことができお世話になった方々に改めて感謝致したいと思っております。

さて、新病院では新たな機能として本号でもご紹介致しておりますが、放射線治療を再開いたします。以前はコバルト照射を行っていましたが、今回新しくリニアックという治療装置を導入いたしました。周辺の正常組織にできるだけ影響を及ぼさないようにする特殊な外部放射線治療法の三次元原体放射線治療(3D-CRT)や強度変調放射線治療(IMRT)などの施行が可能で、高齢化が進み、がん患者さまの増加が予想されますが、以前とは違って外科治療にも匹敵するような放射線治療や、放射線化学療法などが注目を浴びています。本院の目指す身体に優しい、負担の少ない治療法として今後ますます需要が増えると考えています。

また、新しい診断装置として320列のCT装置、3テスラのMRI装置、RIシンチグラム装置などを追加導入しました。より一層高度な診断能を備え、CTとMRIを複数台揃えることにより検査の予約までの待ち時間を短縮することが出来ました。放射線科の診断部門を担当する赤木主任部長も1月から着任しており、ますます迅速に診断す



病院長 森田 眞照

ることが可能になりました。是非開業医の先生方のご利用をお願いしたいと思います。

さらに新病院ではがん患者さまに対して、緩和ケア病棟を立ち上げました。以前から緩和ケアチームとしてがんと診断された時から、緩和ケアとの提供を目指してまいりましたが、今回新病院の開院とともに病棟ケアもスタートしており、既に多くの患者さまにご利用頂いております。

病院の最上階の7階の西側の病棟で、眺望もよく天気の良い日にはベランダに出て大阪市内や生駒山、淀川が見渡せます。緩和ケアはがん末期の時だけとの誤解があるようですが、当院ではがんと診断されたその時から、身体とこころの支えになっていけるような緩和ケアを行いたいと考えています。

今後もこころの通う医療を行い、信頼される病院作りに邁進したいと思いますので、引き続きご支援頂きますようよろしくお願いいたします。

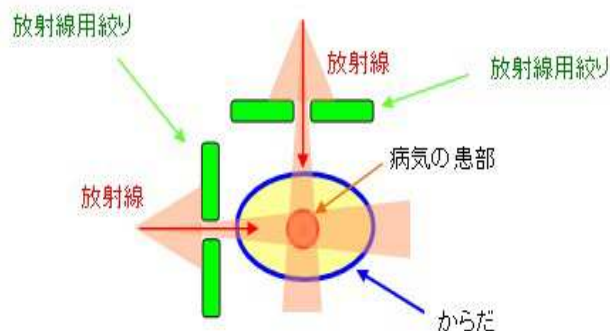
放射線科からのご案内

1月から放射線治療を始めました

放射線治療とは

放射線は、可視光や紫外線と同じ仲間の強い光で、物を通り抜ける力を持っています。

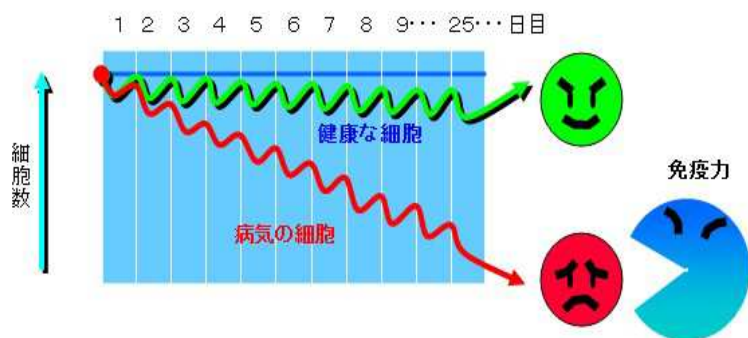
放射線治療は、放射線を絞って照射することにより、できるだけ周辺の健康な細胞を傷付けずに、体の中に有る病気の細胞にだけ障害を与えることができます。



しかし、放射線の通り道にある健康な細胞にも、放射線が当たりますので、通常は一回の照射だけでなく、比較的緩やかな照射を何日かに分けて繰り返し照射します。(分割照射といいます)

こうすることにより、病気の細胞は放射線照射の繰返しにより、どんどん数が減り、最後は皆さんが自然に持っている免疫力に負けてしまいます。一方、同じように放射線を浴び続けても健康な細胞は、病気の細胞より高い修復力を持っていますので、障害から回復して行きます。

分割照射



そこで、治療中は免疫力を維持しながら、気長に治療を続けて行くことが大事になります。

放射線治療は、他の治療法に比べて臓器の形や機能を温存しながら治療を行うことができ、また比較的副作用の少ない治療で、患者さまに優しい治療法といえます。

最新鋭の治療システムを導入



今、全国で放射線治療を受けられる患者様さまが増加しています。肺がん、前立腺がん、乳がんなど放射線治療の対象疾患が増え、高齢化が進み、また、臓器の機能や形態を温存できる放射線治療について、マスコミやインターネットを通じて情報を得られた患者さまやご家族が積極的に選択されるという状況も増えてきております。この様な中で、新病院の目玉として、当院にも最新鋭の治療システムが導入され、最高水準の放射線治療をご提供できる体制を整えました。

X線 4MV と 10MV (メガボルト) の X 線照射が可能で、頭頸部などの比較的浅い部分から腰腹部などの体の厚い部分までの幅広い治療が行えます。

さらに、電子線では、4MeV (メガエレクトロンボルト) ~15MeV までの幅広いエネルギーを有し、皮膚などの浅い部分から、乳がん追加照射まで、患部の深さに合った最適な治療が行えます。

CT などの三次元画像を使った高精度な治療計画を実現。高精度放射線治療のひとつ強度変調放射線治療 (IMR) のプランも可能であり、将来的な発展性を可能としたシステムです。



★**三次元原体放射線治療**…あらゆる方法から X 線ビームを患部のみに集中照射し、正常組織への照射を防ぎます。

★**頭頸部定位放射線治療**…ガンマナイフ等で知られるラジオサージェリで、極小の頭頸部腫瘍や脳動脈奇形などの治療ができます。

★**体幹部定位放射線治療**…肺がん、肝臓がん、脊髄動脈奇形の疾患を切らずに治療します。

★**強度変調放射線治療**…頭頸部や前立腺などの臓器が隣接する複雑な形状の患部を他への影響を抑えながら照射します。

核医学検査のご紹介

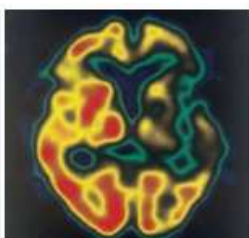
核医学検査はアイソトープ検査または RI (アールアイ) 検査とも呼ばれ、特定の臓器や組織に集まりやすい性質を持った放射性の医薬品を患者さまに投与します。投与された放射性医薬品が、目的の臓器や組織に集まったところで、そこから放出される放射線 (ガンマ線) を専用のガンマカメラを用いて体外から検出し、その分布を画像化します。CT 検査や MRI 検査は、主に臓器の形態の異常を調べるのに対し、核医学検査は、投与された放射性医薬品の分布や集積量、経時的変化の情報から、臓器や組織の形態だけでなく、機能や代謝状態などを評価することができます。

脳血流検査 (脳血流シンチグラフィ) では、脳梗塞、認知症、てんかん、外傷などさまざまな病気によって起こる脳内の血流の異常部位を検出したり、脳動脈を拡張させてその反応性を定量評価することで治療法の選択に役立つ情報を得ることができます。

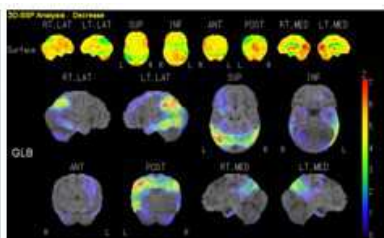
血流異常のパターンを視覚的に評価するのが困難な場合があり、経験に依存することになるため、正常者から求められたノーマルデータベースと比較して統計学的に異常部位を解析する手法が広く行われており、アルツハイマー型認知症などの鑑別に有用です。



CT

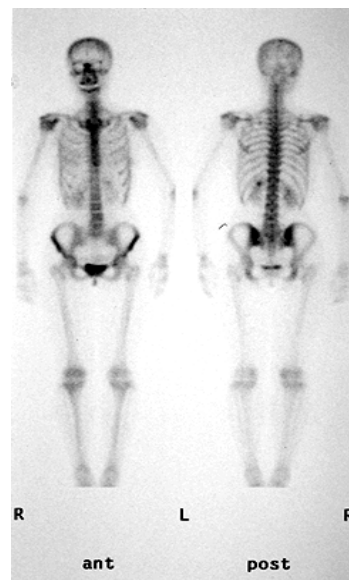


脳血流シンチグラフィ



統計解析

骨シンチグラフィでは、骨の組織に集まる性質をもつ放射性医薬品を注射し、それから出る放射線の様子を写真に撮って、がんの骨転移、外傷などによる微小骨折など、X 線検査ではわかりにくい様々な骨の状態を詳しく調べることができる検査です。骨転移の治療前後で治療の効果をみたり、疲労骨折や骨粗しょう症による骨折を早期に発見したりするのに用いられています。



放射線科 医師紹介

主任部長

辰巳 智章
(たつみ としあき)
★放射線治療担当



地域連携の先生方には、画像診断の患者様を多数ご紹介いただきありがとうございます。今年は1月より放射線治療が開始となり、担当することとなりました。

今後も皆様のご期待に添えるよう努力いたしますのでよろしくお願いいたします。

主任部長

赤木 弘之
(あかぎ ひろゆき)
★核医学検査
画像診断・読影担当



今年1月に赴任し、画像診断・読影を担当しています。他施設からの画像検査のご依頼の際には外来で問診を行っています。当院は昨年移転した際に新しいCT、MRI、核医学装置を導入いたしましたので、これらの性能を引き出し、安全で価値の高い検査を行っていきたく考えます。どうかよろしくお願いいたします。

病院トピックス

くらわんかフォーラムを開催しました ～病診連携報告会～



◀開会のあいさつをされる枚方市医師会会長
藤本 良知 先生
(藤本内科)

1月31日(土)午後3時から市立ひらかた病院2階講堂で「くらわんかフォーラム(市立ひらかた病院 病診連携報告会)」を枚方市医師会・枚方市歯科医師会の後援で開催しました。

このフォーラムは地域の医療機関から紹介して頂いた症例に対し当院で行った治療や経過についての報告を基本として毎年開催しています。



枚方市医師会や枚方市歯科医師会の先生方からの講演もあり、垣内成泰先生(かいとクリニック)が「特定健診とがん検診について」を、また石原健也先生(石原歯科・矯正歯科)からは「急速被蓋改善装置による下顎前突症例の治験例」が報告されました。院内からは循環器内科、小児科、放射線科、歯科口腔外科、消化器外科、緩和ケア科、消化器内科からそれぞれ講演を行いました。最後に挨拶された原久永先生(枚方市歯科医師会会長)は「今後も市立ひらかた病院との医療連携を深め、市民の健康を守っていききたい」とあいさつされました。

編集後記

新病院になって初めての「かわせみ」を発行することが出来ました。今号は放射線科のご案内を中心にお伝えしています。RI検査や放射線治療が新たに加わりより一層市民の皆様の健康を守るために努力してまいります。

新しくなったとはいえ、病院も改善をしなければならぬ点も多々あるかと思えます。院内にはご意見箱を設置しておりますので、皆様のご意見ご感想をお聞かせいただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。